

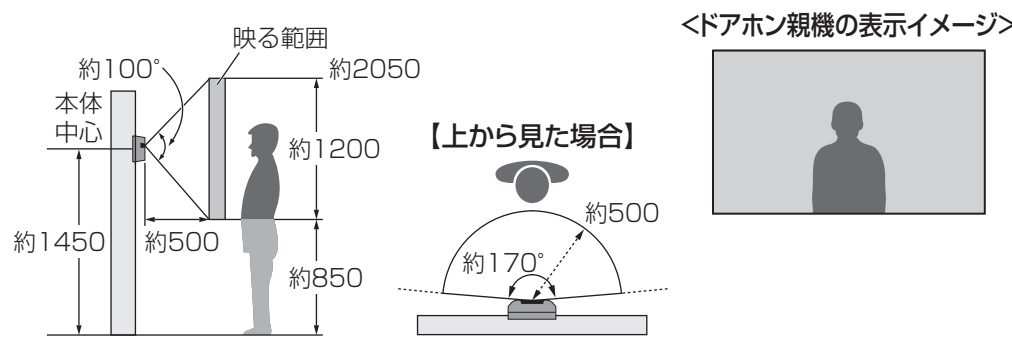


## 1 ドアホンの取り付け位置を決める

(VH575A) と (VH558A) は、同じ画角を持つ広角レンズのドアホンです。「ドアホンのワイド/ズーム設定」に従って、ワイドまたはズームでの撮影ができます。  
(※「取扱説明書(本編)」29ページ)

### 取り付け位置(高さ)と撮影範囲

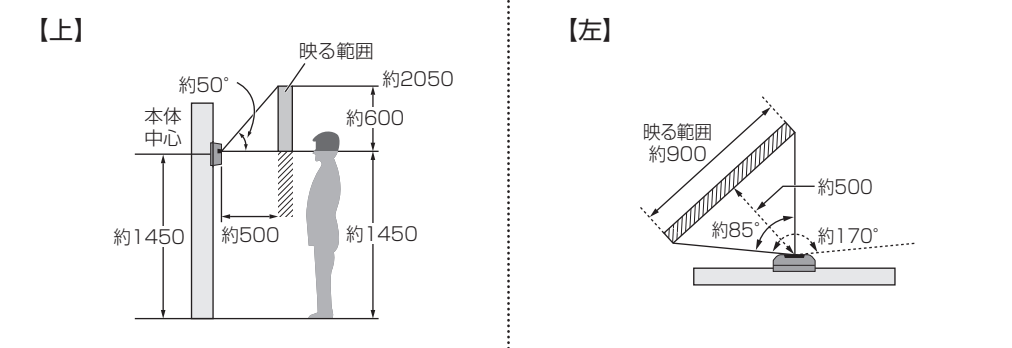
ワイドのとき(お買い上げ時) ..... (図中の寸法単位: mm)



### ズームのとき

ワイドで映る範囲の一部を縦横約2倍に拡大表示します。  
●ズーム時に映る範囲は、「ドアホンのズーム位置設定」で任意の位置から選べます。  
下記を参考にドアホン親機で設定してください。  
(※「取扱説明書(本編)」29ページ)

### 上下方向



### 中央 お買い上げ時



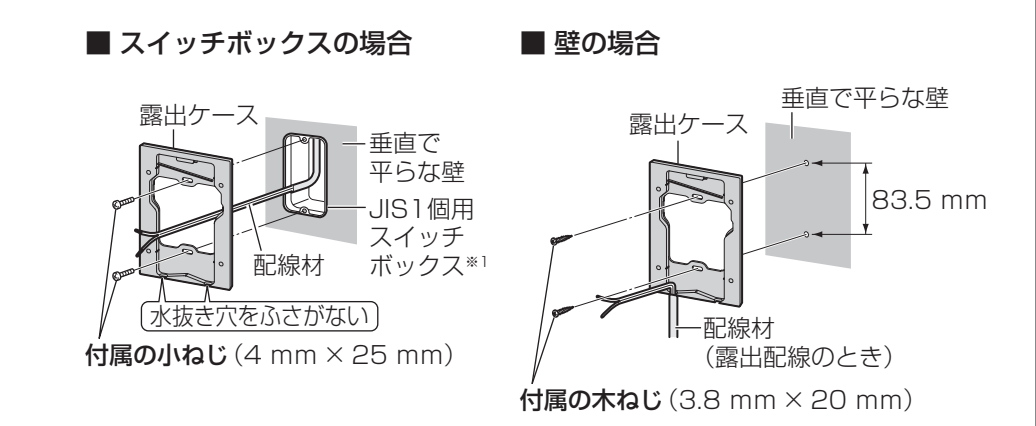
### 下



## 2 ドアホンを取り付ける

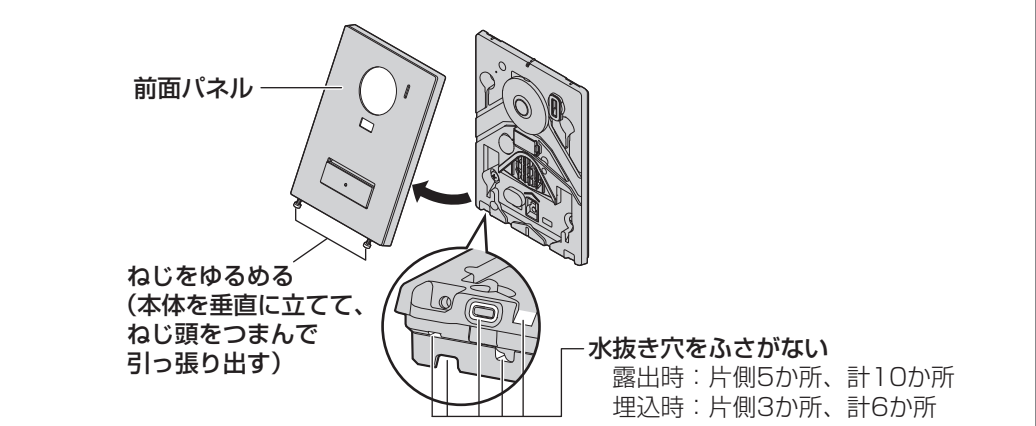
露出設置する場合	埋込設置する場合 (手順2から始めてください)
----------	----------------------------

### 1 露出ケースを壁面に確実に取り付ける(露出設置の場合のみ)

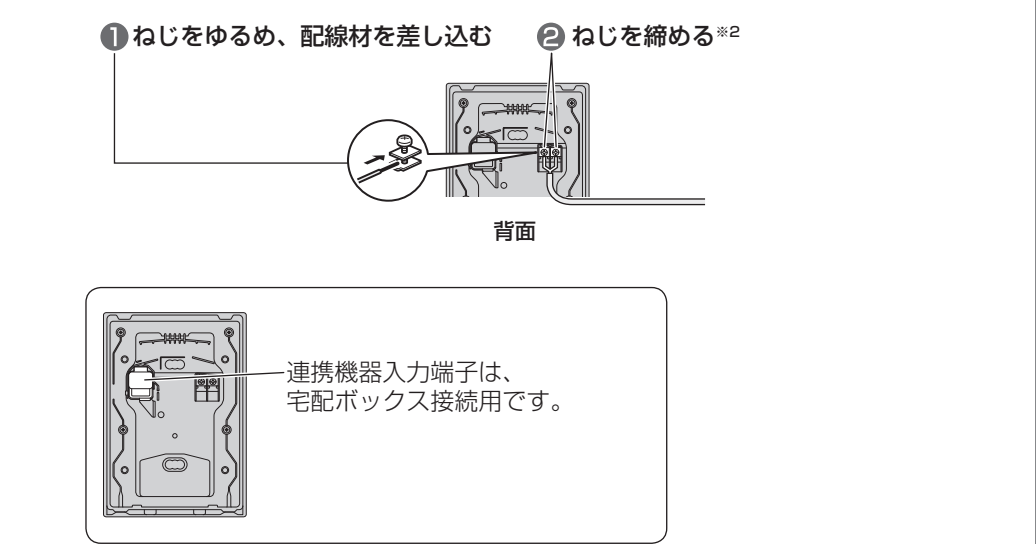


●壁の中から出ている配線材が「3本線またはそれ以上」「直径1.6 mm以上の単線」「断面積1 mm<sup>2</sup>以上のより線」のときは、電源線(AC100 V などの可能性あります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)  
●電圧がかかっている配線材をドアホンに接続すると、機器が壊れます。

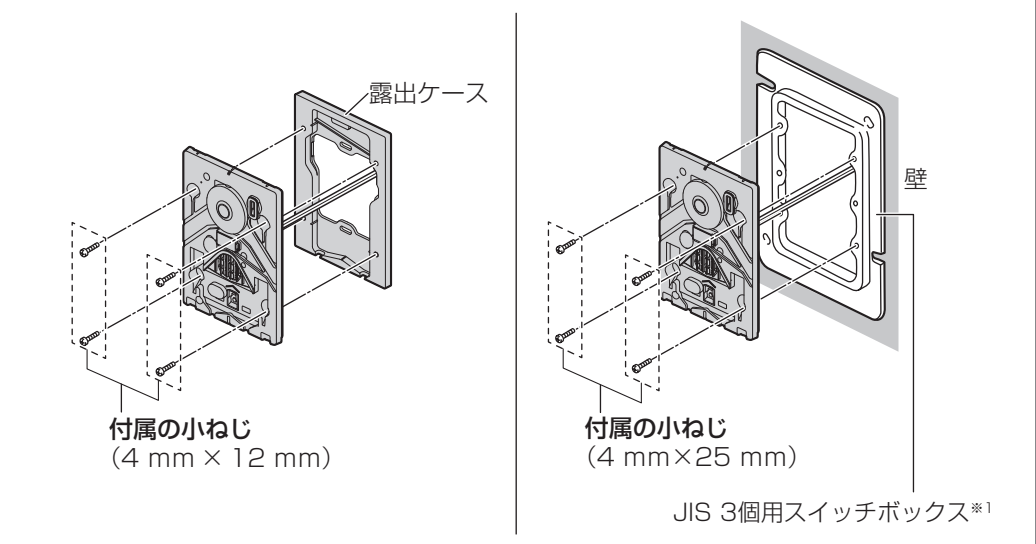
### 2 ねじをゆるめて前面パネルを外す



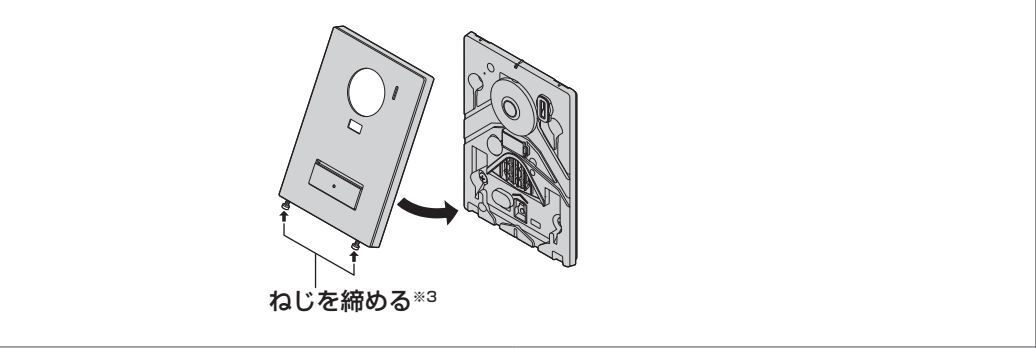
### 3 配線材を接続する



### 4 本体を取り付け、固定する



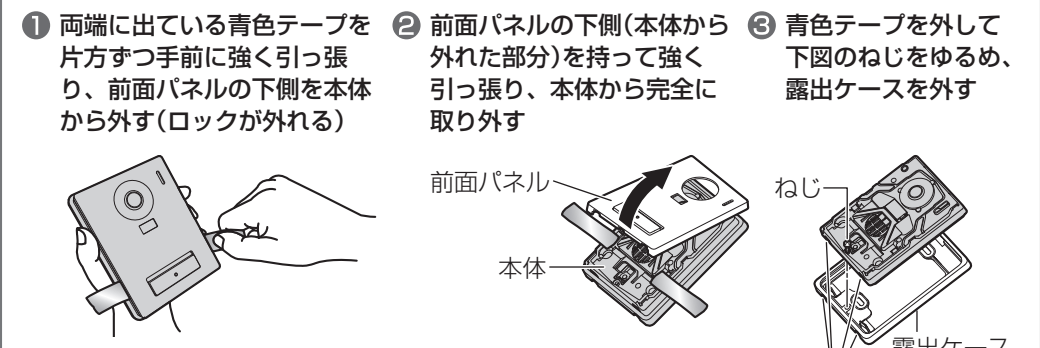
### 5 前面パネルを取り付け、ねじを締める



※1 底面に穴(スリット)がない場合は、水抜きのための穴を開けてください。  
※2 電動ドライバーなどを使う場合は、ねじの破損防止のため、締め付けトルクを0.7 N・m(7 kgf・cm)以下に設定してから固定してください。  
※3 電動ドライバーなどを使う場合は、ねじの破損防止のため、締め付けトルクを0.3 N・m(3 kgf・cm)以下に設定してから固定してください。

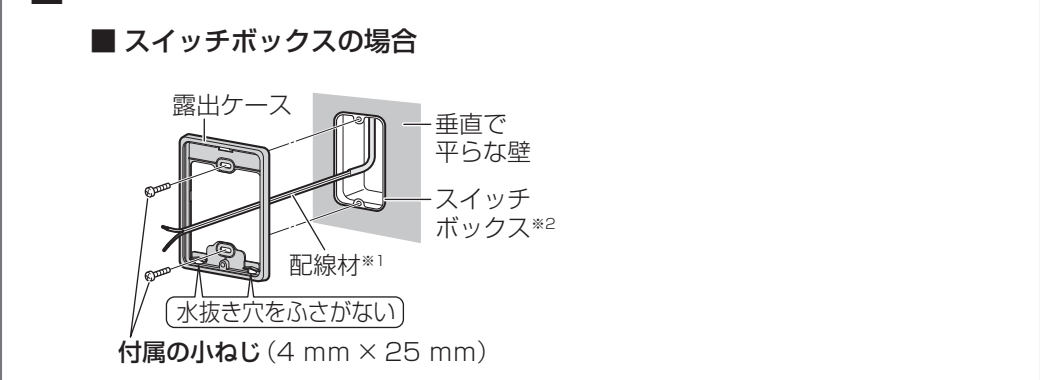
## 3 ドアホン親機の取り付け位置を決める

### 本体と壁掛け金具の取り付け位置

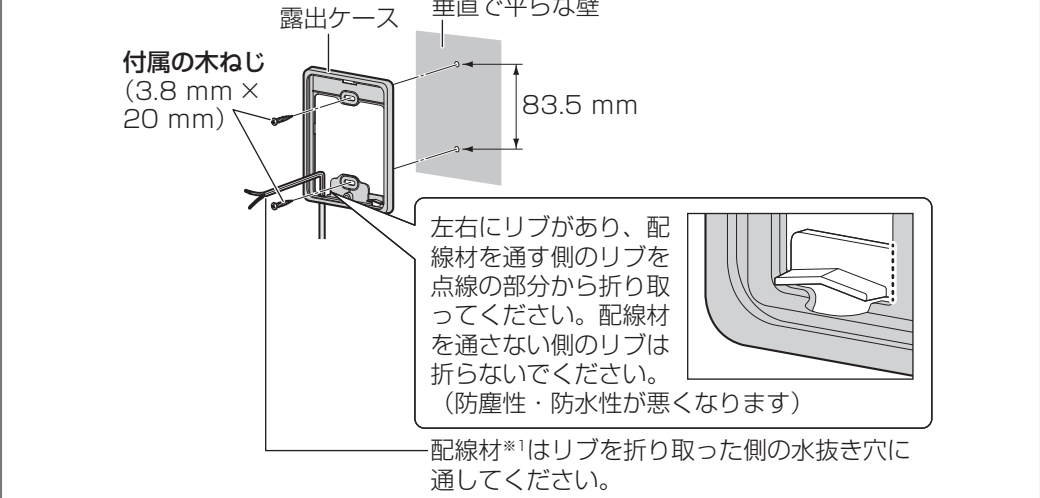


●本体は、よくご利用になる方の目の高さに画面の中心がよくなるように付けてください。(下図は、画面の中心を床から約1500 mmの高さにするときの例です)  
●本体の上下左右には、下記のための空間を20 cm以上とってください。  
・誤動作や通話の途切れ防止  
・SDカードの出し入れ、リセットボタンの操作

### 1 前面パネルと露出ケースを外す

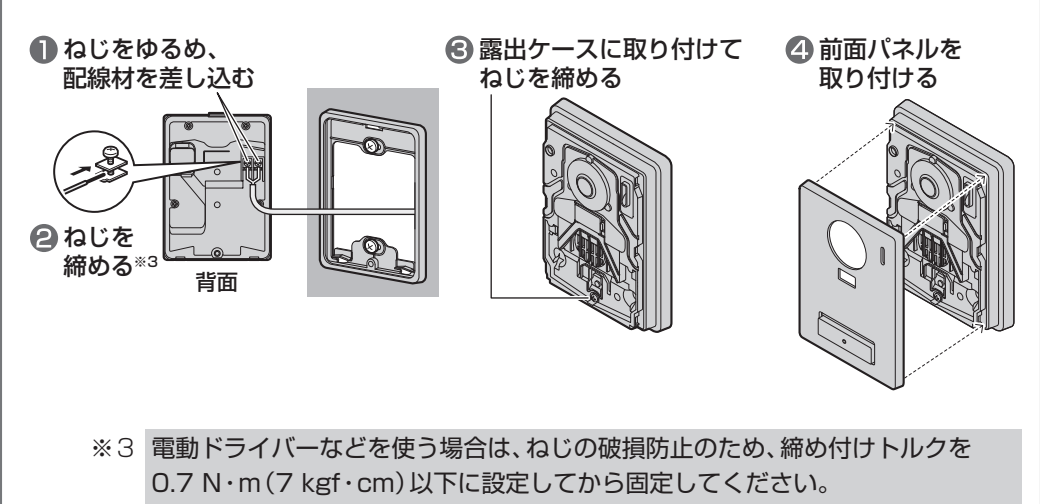


### 2 露出ケースを壁面に確実に取り付ける

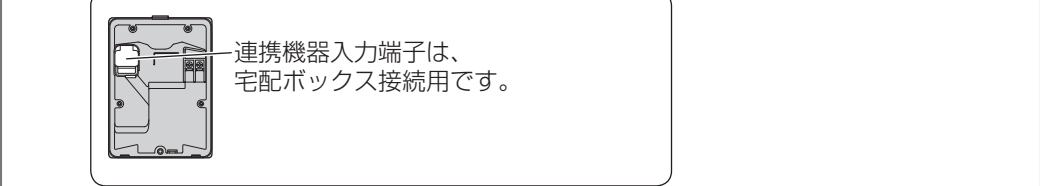


※1 (既設の配線を使用する場合)  
●壁の中から出ている配線材が「3本線またはそれ以上」「直径1.6 mm以上の単線」「断面積1 mm<sup>2</sup>以上のより線」のときは、電源線(AC100 V などの可能性あります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)  
●電圧がかかっている配線材をドアホンに接続すると、機器が壊れます。  
※2 JIS 1 個用スイッチボックス  
底面に穴(スリット)がない場合は、水抜きのための穴を開けてください。

### 3 本体に配線材を接続して露出ケースに固定し、前面パネルを元のように取り付ける

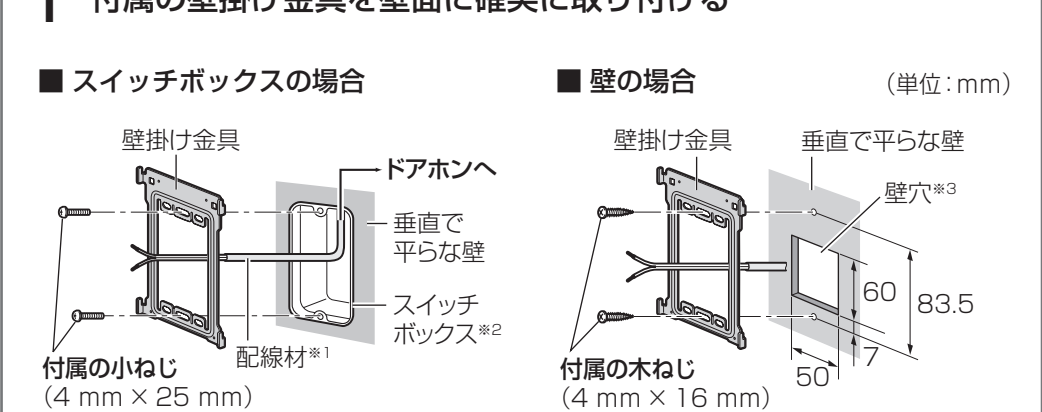


※3 電動ドライバーなどを使う場合は、ねじの破損防止のため、締め付けトルクを0.7 N・m(7 kgf・cm)以下に設定してから固定してください。



## 4 ドアホン親機を取り付ける

### 1 付属の壁掛け金具を壁面に確実に取り付ける

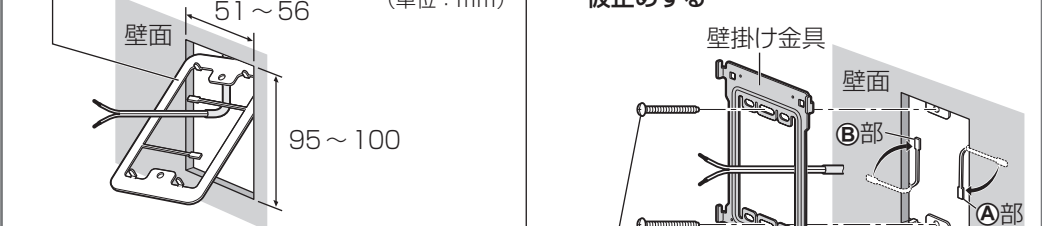


※1 (既設の配線を使用する場合)  
●壁の中から出ている配線材が「3本線またはそれ以上」「直径1.6 mm以上の単線」「断面積1 mm<sup>2</sup>以上のより線」のときは、電源線(AC100 V などの可能性あります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)  
●電圧がかかっている配線材をドアホンに接続すると、機器が壊れます。  
※2 JIS 1 個用スイッチボックス  
電源線とその他の信号配線材などが混在する場合は、絶縁セ/レーターを取り付けてください。  
※3 スwitchボックスを使用せずに壁の中から配線する場合に、壁穴を開けてください。

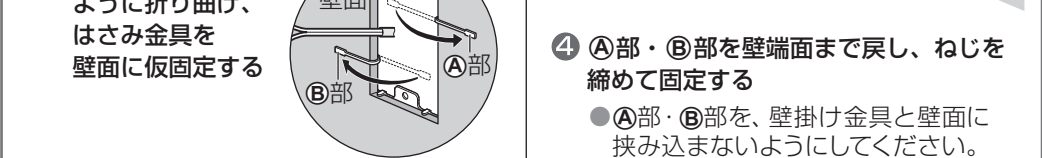
### ■パネル壁(石こうボード)の場合

壁に下図のように穴を開け、脱着を防止するため、右記のはさみ金具を使って取り付けてください。

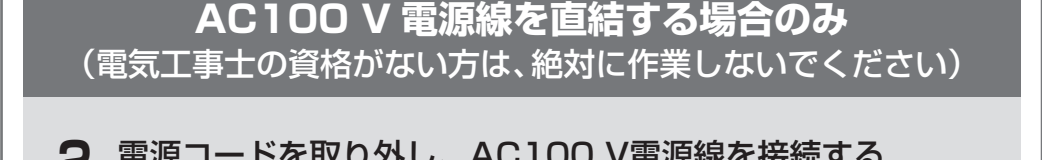
### 1 はさみ金具を壁面の裏側に入れる



### 2 はさみ金具と壁面をねじで仮止める

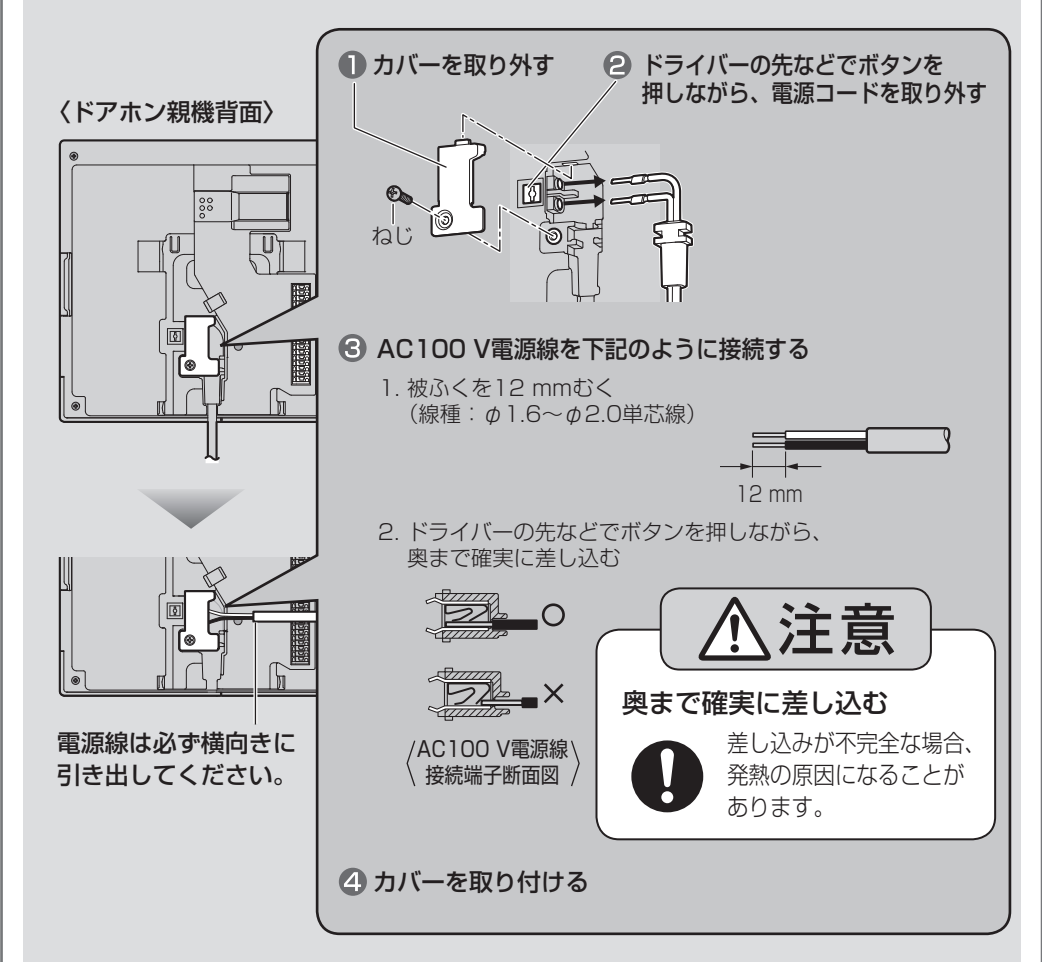


### 3 はさみ金具を壁面に仮固定する



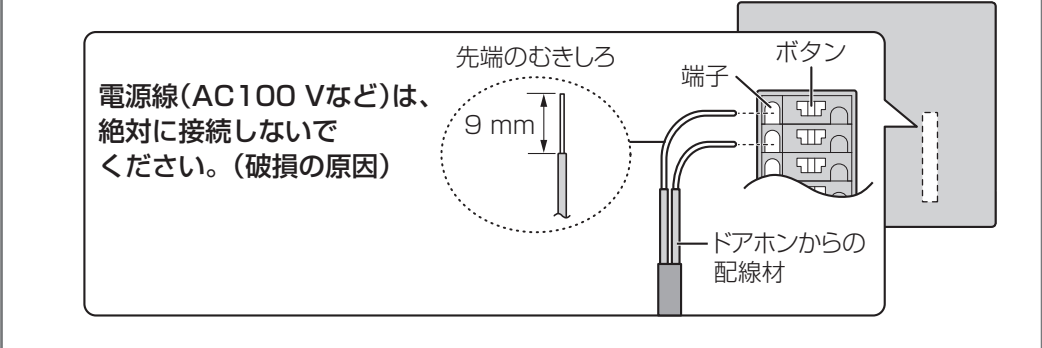
## AC100 V 電源線を直結する場合のみ (電気工事士の資格がない方は、絶対に作業しないでください)

### 2 電源コードを取り外し、AC100 V 電源線を接続する



### 3 配線材を接続する

●配線系統図(※8 表面)に従って正しく接続してください。  
●配線材は、各端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながら抜き差ししてください。



### 接続する配線材についてお願い

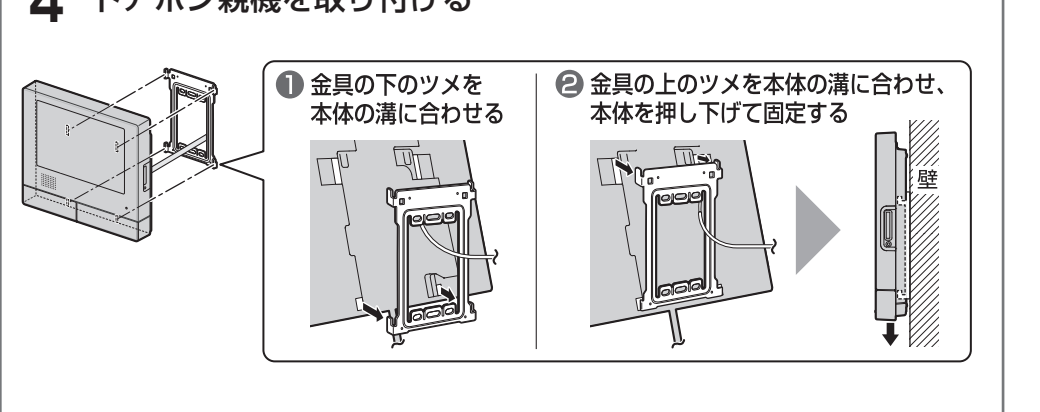
●配線材がより線の場合  
そのままでは接続できません。市販の単芯線(50 mm以上)とより線を下記の方法で確実に結線してください。  
●配線材を途中でつないで使用する場合  
つなぎあわせる配線材を下記の方法で確実に結線してください。

(結線方法)  
結線部をハンダ付処理してテーピングで絶縁するか、市販の圧着スリーブで圧着処理をしてください。(結線部をよじっただけでは接続不良になり、正しく動作しない場合があります)



※手順4で、圧着スリーブを壁掛け金具に挟み込まないように注意してください。

### 4 ドアホン親機を取り付ける



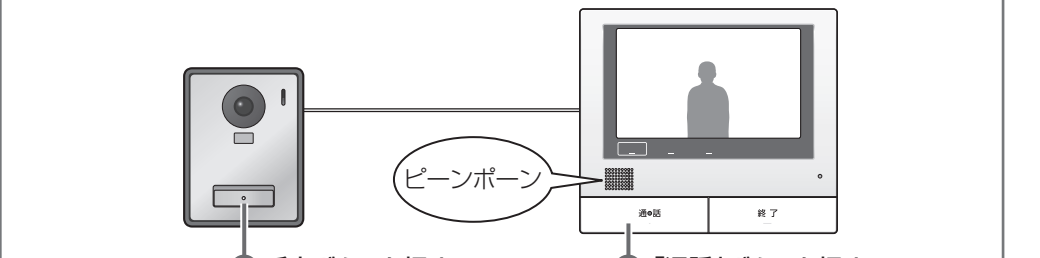
### 5 [電源プラグで使用する場合のみ]

電源プラグのキャップを外して、コンセント(AC100 V)に差し込む  
●落雷による機器の故障を防止するために、雷サージ防止付きのコンセント(市販品)に差し込むことをお勧めします。

## 5 正しく動作するか確認する

取り付け・接続後、正しく配線できているか下記の手順で動作を確認してください。

- 1 ドアホンの呼出ボタンを押し、ドアホン親機で呼出音が鳴り、映像が映ることを確認する
- 2 ドアホン親機の「通話」ボタンを押し、ドアホンと通話できることを確認する  
●確認が終わったら、ドアホン親機の「終了」ボタンを押す



### ドアホン親機が正しく動作しないとき (「U1」が表示される、呼び出さない、映像表示しないなど)

正しく配線されていない可能性があります。次のことを確認してください。

- ドアホン側、ドアホン親機側の端子に、それぞれ配線材が確実に接続されていますか?
- 正しく接続したのにドアホン親機が鳴らない場合、壁内での配線に異常がある可能性があります。下記の手順で、確認してください。

- 1 いったんドアホンを外してドアホン親機の近くに持っていく
- 2 短い配線材などを使って右図のように直接つなぐ
- 3 再度、動作を確認する  
⇒ 正常に動作すれば、壁内の配線に問題があります。配線を確認してください。

